

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部生活環境課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	スマートコミュニティ導入促進事業			
■評価事業コード	030200 - 132	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市総合計画、北上市環境基本計画			
■事業の概要	市の再生可能エネルギー比率を高め、非常時の避難所の電源確保を行い災害に強い街を目指す。メガソーラー整備及び運営・本庁舎へ蓄電池、EV車、急速充電器、LED照明を設置しBEMSを通じて制御する。北上陸上競技場へ太陽光発電システム、蓄電池、LEDソーラー街路灯を設置する。地区交流センターにEV車、充電器、給電制御装置を設置する。オフィスアルカディアに太陽光発電システム、蓄電池を設置する。・上記の分散電源をCEMSを構築し最適制御を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01	スマートコミュニティ導入促進事業	市民、職員、企業		・メガソーラー 2.9Mw、本庁舎 蓄電池 300kW、EV車1台、急速充電器1基、LED照明、BEMS・北上陸上競技場 太陽光システム30kW、蓄電池15kW、LED街路灯20基・地区交流センター EV車7台、充電器7基、給電制御装置5カ所、外部供給装置7基・オフィスアルカディア北上 太陽光発電システム20kW、蓄電池15kW・CEMSの整備

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費				1,803	
人件費				6,261	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				8,064	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	メガソーラー整備・運営事業				マスタープラン策定	庁舎建設予定地(約6.6ha)に大規模太陽光発電設備を設置する。発電規模は2.9Mw。災害による停電時には、パワーコンディショナーから電気を取り出せる機能

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

					を有する。地域エネルギー マネジメントシステム(CEM S)と接続し、発電量情報の 収集・監視を行う。
02	市庁舎エネルギーマネジメン ト事業			マスタープラン 策定	本庁舎に蓄電池(300Kw)、 EV及び充電機を設置す る。CEMSと接続して、室 内空調機・照明機器の制御 を行う。給電制御装置によ り、蓄電池、EV用充電器、 太陽光発電システム(GND 事業で整備)の運転制御の 最適化及び災害時の給電 制御を行う。江釣子庁舎、 和賀庁舎にも電力制御装 置を整備して、電力消費の 「見える化」を図る。
03	ソーラーパーク整備・運営事 業			マスタープラン 策定	陸上競技場のスタンドに太 陽光発電システム(30Kw) と蓄電池(15Kw)を設置す る。給電制御装置により太 陽光発電システムと蓄電池 の運転制御及び災害時の 給電制御を行う。LED街路 灯をエントランス及び広場 周辺に20基設置する。
04	防災拠点機能強化事業			マスタープラン 策定	第1次避難所の地区交流セ ンターにEV及び充電機を 設置する。外部供給装置に よりEVから1.5Kwの電気を 取り出せる機能を設ける。
05	オフィスアルカディア北上 太 陽光発電等整備・運営事業			マスタープラン 策定	オフィスプラザに自家消費 用の太陽光発電システム (20Kw)と蓄電池(15Kw)を 設置する。オフィスプラザ、 基盤技術支援センター、北 上高等職業訓練校、貸研 究工場棟に電力測定装置 を導入し、電力消費量の 「見える化」を図る。
06	CEMS整備・運営事業			マスタープラン 策定	地域エネルギーマネジメン トシステム(CEMS)を中心 に、市内に整備される分散 電源の最適制御を実施す る。施設の使用電力の20% を再生可能エネルギーとす ることを定め、その目標を 達成することを定め、その 目標を達成することを目的 とした設備制御及び運転制 御を行う。Step1では北上 本庁舎、Step2では江釣 子・和賀庁舎及びオフィス アルカディア北上へと拡張 する。

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況	達成状況の分析	問題点・課題等
☒ A. 順調 ☐ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	平成24年度はマスタープランを策定。平成25年 度から順次事業を展開していく。順調に実施でき ている。	平成24年7月から始まった国の固定価格買取制 度を利用し、メガソーラーの売電による収益によ りスマートコミュニティ事業を展開していくことか ら、メガソーラー発電所建設、売電開始を当初の 計画通り進めて行くことが重要。

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 直接的な受益者の範囲

- ☒ 不特定多数に及ぶ
- ☐ 特定されるが多数に及ぶ
- ☐ 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- ☒ 大きな不利益やリスクが生じる
- ☐ ある程度の不利益やリスクが生じる
- ☐ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- ☐ 類似の事業はない
- ☒ 類似の事業はあるが競合はない
- ☐ 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ☒ ニーズが高まっている
- ☐ ニーズは変わらない
- ☐ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☒ 順位が中程度
- ☐ 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- ☐ 順位が高い
- ☐ 順位が中程度
- ☒ 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- ☒ 先進的またはユニークな事業である
- ☐ 他と同程度の事業である
- ☐ 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- ☒ 民間委託等の拡充は難しい
- ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能
- ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- ☐ 今以上の効率化や改善は難しい
- ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- ☐ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- ☐ I. 拡充
- ☒ II. 継続
- ☐ III. 縮小・要改善
- ☐ IV. 民間活用・協働事業化
- ☐ V. 廃止・休止
- ☐ VI. 完了

補足説明